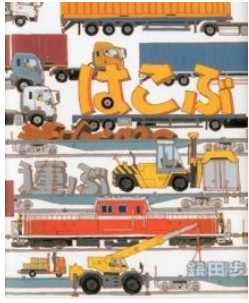
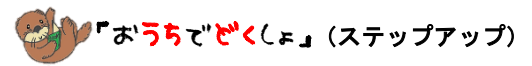


# 雑学博士になってみよう！



『はこぶ』 鎌田 歩//作 絵 教育画劇

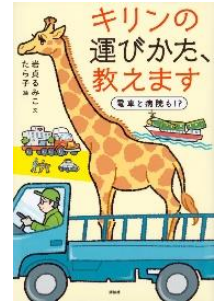
みんなは、学校に行く時に勉強道具をランドセルで運びますね。人は昔から物を運ぶために動物に運ばせたり、車輪の付いた車を発明したりと、色んな工夫をしてきました。いろんな“運ぶ”が出てきます。

運んでみよう！

『キリンの運びかた、教えます 電車と病院も!?』

岩貞 るみこ//文 たら子//絵 講談社

いろんな“はこぶ”をみましたね。では、キリンや鉄道車両を運ぶには具体的にどうしたらよいでしょう。生き物や866両もの電車を海外に運ぶためにはいろいろな問題をクリアしなくてはなりません。



『どうぶつえんの おいしゃさん』

降矢 洋子//さく 増井 光子//監修 福音館書店

動物園では、飼育員さんがお仕事をしているのはみんな知っていると思いますが、動物はいつも元気とは限りません。お腹をこわしたり、ケガをしたり、虫歯になることも、だからお医者さんもないといけないのです。

ペットはどうだろう？

『珍獣ドクターのドタバタ診察日記 動物の命に「まった」なし!』

田向 健一//著 ポプラ社

著者の動物病院にはいろんな種類の動物たちが、けがや病気で連れてこられます。カエルやヘビ、トカゲにワラビー、アリクイなどなどペットで飼えるの?と思うような動物も。どんな動物がきても無理とは言わずに治療します。



『ながいながい骨の旅』

松田 素子//文 川上 和生//絵

桜木 晃彦//監修 群馬県立自然史博物館//監修 講談社

地球が生まれて46億年、1つの細胞からできた生き物があらわれたのは43~38億年前と言われています。そこから細胞が増えて大きな生き物になって、骨の始まりである脊索(せきさく)をもった私たちの遠い祖先は「カンブリア紀」に現れます。骨からみた生物の歴史です。

もっと詳しく読んでみる

『40億年、いのちの旅』 伊藤 明夫//著 岩波書店

地球上の生き物は同じ細胞から進化しました。その間には気候の寒冷化や大きな火山活動などで大量絶滅がおき、そこからまた、多様な進化を遂げてきました。ヒトもその中の一つにすぎないのだと考えさせられます。

